

港南区教育研究会

1 研究主題「社会に開かれた教育課程の創造・実践」

～主体的・対話的で深い学びを実現する授業力の向上と研究交流の広がりをめざして～

2 研究主題について

新しい学習指導要領の実施を受け、各教科・領域で育てたい資質・能力をしっかりと踏まえて授業づくりをするとともに、各学校で実態に応じた育てたい資質・能力を明確にした教育課程の編成に取り組むことが児童の主体的・対話的で深い学びを実現するために大切であると考えます。

3 研究方法と年間活動報告

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応で、研究会の開催にも影響があった。6月からは、各学校1名での参加という制限の中、研究活動が本格的に始まった。各研究会では、テーマを決めて研究を進めていった。今年度は区一斉授業研究会の実施が見送られたことから、各学校の授業実践の提案を中心に研究が行われた。また、新型コロナウイルス感染症対応の中、各学校で授業の進め方、工夫しているところ、学校行事の計画の仕方等の情報交換を行った。講師を招いて講演会や学習会を行い、研究の視点や授業の進め方などを共有した。外部機関と連携を図ることで授業や学校行事等に生かしていくことができた。

3 密を回避するために、人数の制限をして研究会を行うことが多かったが、オンラインで研究会を行うことにチャレンジしたところもあり、今後の見通しがもてるようになった。

- ・港南図書館との研修（8月）
- ・区水泳記録会、区球技大会は中止
- ・区音楽会 希望参加で、各学校で録音したものを聴き合うという活動で実施した。
- ・区給食展（6月港南区役所・1月）
- ・区巡回図画工作展 学校ごとの展示（2月）
- ・区個別支援学級合同学習発表会は中止

4 研究の成果と課題

新しい学習指導要領が実施され、各研究会では授業実践や評価について研究を深めることができたと思う。例年なら、区一斉授業研究会で研究の成果と検証がなされる場所であるが、次年度に持ち越すこととなった。しかし、今年度の研究の蓄積が次年度に生かされることを期待したい。また、講演会や学習会では、授業の視点や学習評価の在り方など明確にすることができ、今後の研究活動にも役立つものであった。さらに、オンラインで講演会を開催したことで、より多くの部員が参加できたことはとても効果的であったと思う。

今年度は、新型コロナ対策で各校での授業の進め方、行事の計画の仕方など実践提案や情報交換を行ったことがとても参考になった。新型コロナウイルスが収束するという見通しがもてないので、来年度も研究会の持ち方等工夫が必要になると思われる。オンラインでの研究会が、効果的な部分もあることがわかったので、必要に応じて集合して行う研究会とオンラインで行う研究会と使い分けていくことも考えられる。GIGA スクール構想で校内の環境を整えば、より多くの部員が研究会に参加でき、研究の内容が各学校に広がっていくと思われる。